



ゆうメール

春号

# ナーク便り

内 容

2020.4

- P2-3 業務紹介 令和2年度の研修計画が決まりました！
- P4-5 「2040年問題」知っていますか？
- P6 開催報告 ～伝承プロジェクト 全建出前講座～  
お知らせ
- P7 諫早インター工区が供用開始しました  
学習コーナー Q&A
- P8 2020年度（令和2年度）5月～7月 一般研修スケジュール



一般県道諫早外環状線 諫早インター工区



(公財)長崎県建設技術研究センター

Nagasaki civil Engineering Research Center

愛称はナーク (NERC) です

# 業務紹介

令和2年度の研修計画が決まりました！

## 一般研修（民間・行政向け）

一般研修は、県内の建設技術者の育成・技術力向上を目的として実施しております。令和元年度は38回開催し、1,429名の受講者の方にご活用いただき、満足度96%と高く評価頂きました。

令和2年度の研修計画を策定するにあたって、建設業関係団体や市町との意見交換を実施し、貴重なご意見をいただきました。そのご意見を反映し、研修計画を策定しました。なお、資格・継続教育支援のため、各種CPDを認定申請予定です。

## 令和2年度 注目講座の紹介

### 土木技術者応用講座シリーズ！！ 1級土木施工管理技士の資格取得にも有効！！

5/19（火）～5/21（木） 土木技術者応用講座①（3日間）（対象：民間・行政）**延期又は中止**  
8/4（火） 土木技術者応用講座②（半日）（対象：行政）**NEW!**

### 現場で役立つシリーズ！！ 5講座 充実開催！！

- 5/26(火) 現場で役立つシリーズ① 『現場で知っておきたい法律』**延期又は中止**
- 6/9(火) 現場で役立つシリーズ② 『施工計画作成のポイントと策定時の注意点』
- 6/18(木) 現場で役立つシリーズ③ 『工期短縮！工程表作成のポイント』
- 6/23(火) 現場で役立つシリーズ④ 『知っておきたい現場管理のポイント』  
 ☞コンクリートの日常の施工管理ポイント、安全管理 **NEW!**  
 手法（特に化学物質のリスクアセスメント）、外国人労働者の受け入れに関する知識を学びます！
- 7/14(火) 現場で役立つシリーズ⑤ 『労働災害事例から学ぶ安全管理のポイントと発注者から見た事故防止の取組み』

## 新設講座 紹介 **NEW!**

日程（予定）	研修名	研修レベル	研修内容
6月11日（木）	「やってみよう！」から「やってみよう！」ICT導入と活用	基礎	生産性向上及び担い手不足対応の手段の一つとしてICTを導入した事例を交えながら学びます。
8月20日（木）	下水道の長寿命化と維持管理	応用	最近の動向を踏まえた下水道の長寿命化や維持管理について、管更生工法の定義や実演デモを交えながら学びます。
9月10日（木）	土砂災害の発生事例とその対策	応用	土砂災害の対策と調査法、土砂災害対策工事の安全対策について、事例を交えて学びます。
9月29日（火）	建築工事の積算演習	基礎	建築工事の数量算出について躯体関係、仕上げ関係、その他専門関係に分けて積算演習を交えて学びます。
10月15日（木）	土砂災害区域設定と急傾斜事業	応用	砂防・急傾斜事業について、計画における条件設定や設計の考え方および土砂災害警戒区域の設定方法を学びます。
11月17日（火）	河川の維持管理と災害復旧	基礎～応用	河川の維持管理に関する詳細な考え方と、災害復旧全般に係る設計の考え方を施工事例を交えて学びます。

## 人気講座 **ベスト7**（行政編）の紹介

H31年度開催した研修の人気ベスト7の紹介です！今年度の受講計画にお役立てください！

順位	講座名
1位	品質管理基準と施工プロセスチェックの対応
2位	コンクリートの基礎知識とひび割れ対策～ひび割れの種類・要因に学ぶ～
3位	品質管理のポイントと発注者から見た注意点 〔R2：土工のための調査と施工管理及び発注者から見た施工管理の注意点〕 <b>延期又は中止</b>
4位	現場管理で知っておきたい法律 〔R2：現場で役立つシリーズ③（現場で知っておきたい法律）〕 <b>延期又は中止</b>
5位	労働災害の発生事例と発注者から見た安全管理のポイント 〔R2：現場で役立つシリーズ①（労働災害事例から学ぶ安全管理のポイントと発注者から見た事故防止の取組み）〕
6位	土木技術者応用講座（3日間）〔R2：土木技術者応用講座①（3日間）〕
7位	CAD（ヴィーナス）～初級演習～

## メール通信「ナーク研修通信」への登録はお済みですか？

毎月月初めに、メール通信「ナーク研修通信」で翌月の研修の詳細情報等を配信しています。翌月の研修スケジュールを確認でき、とても便利です。ナークホームページから簡単に登録可能です。ぜひご利用ください！登録方法はこちら↓

「ナークホームページ トップ」→「各種申込窓口」→「ナーク研修通信 新規登録」

## 土木部職員等専門研修（行政向け）※受託事業

土木部職員等専門研修は、県の土木関係職員の経験年数に応じた階層別研修として、当センターが長崎県から受託し、開催しており、市町職員も一部研修に参加いただいています。令和元年度アンケート結果では、受講者の約97%が「研修効果がある」と回答され、高い評価をいただきました。

### 受講者の声

- ・一つ一つ丁寧に、分からない所もすぐに対応してくれて分かり易かった。
- ・ホワイトボードを使用したり、細かく説明してくれて理解し易かった。



座学



現場研修（施工プロセスチェック）



パソコン使用の積算研修

県職員の方には、土木部職員等専門研修以外に、ドローン研修やフルハーネス研修を実施予定です！詳細は、別途お知らせします。

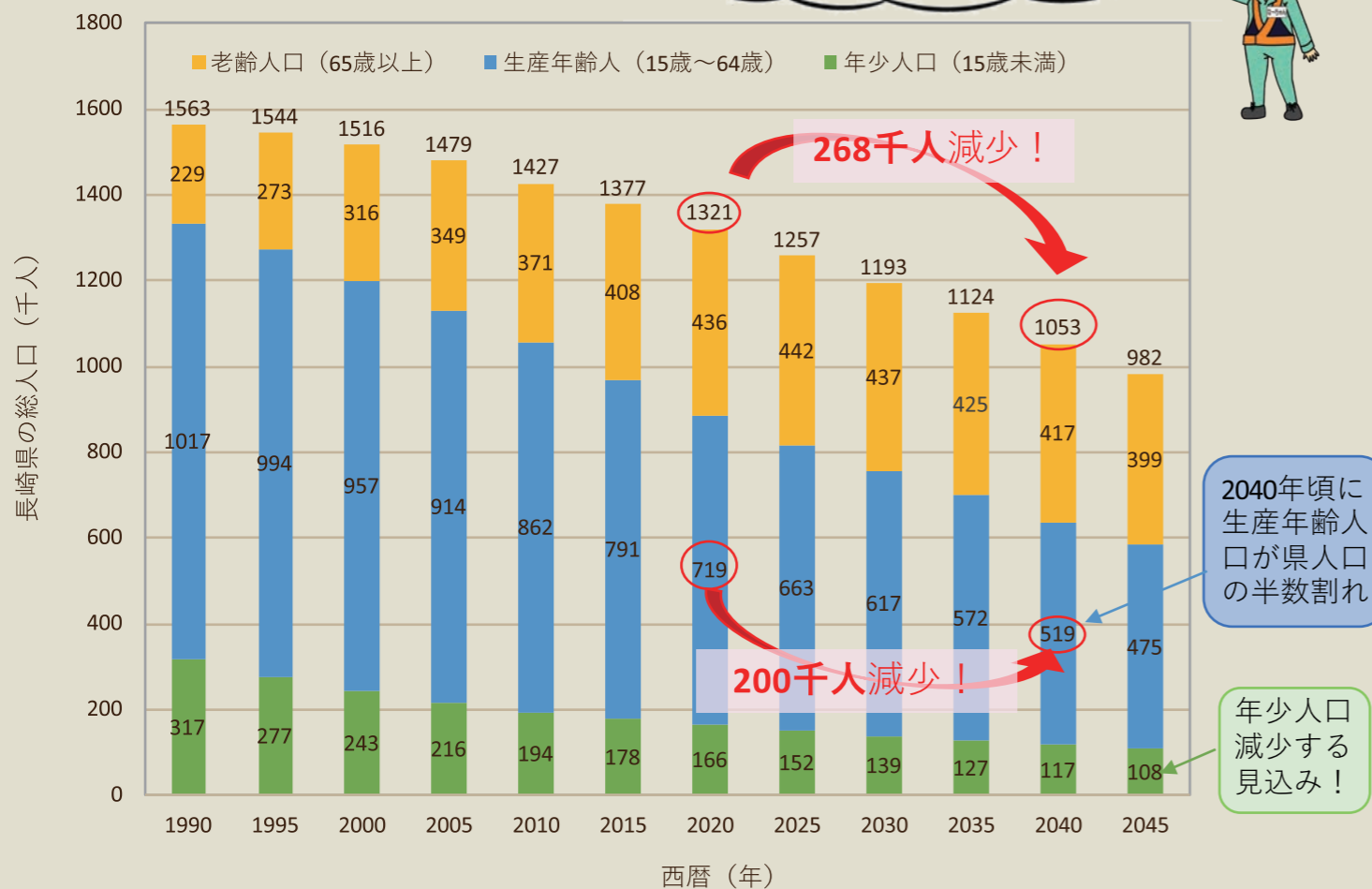
# 『2040年問題』知っていますか？

2040年問題とは、団塊ジュニア世代が2040年に70歳を超えることで、働く現役世代が著しく減少し、そのために生じる様々な問題のことです。2025年までは75歳以上の高齢者が増えますが、その後は高齢者の人口の伸びは落ち着きます。しかしながら、生産年齢人口が減少し、2040年頃には生産年齢人口が県人口の半数を割ってしまいます。これらの問題に対応し、いかに未来を築いていくかについて、本県では長崎県2040年研究会において、将来あるべき姿を描き、逆算する形（バックキャストिंग）で、その実現のために考え、取り組むことの必要性が示されています。

これから2040年にかけて県人口が268千人に減少し、その内、生産年齢人口は200千人も減少します。



長崎県の人口推移、将来推計



出典：・国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」、  
・総務省統計局「国勢調査」

## 長崎県における2040年の社会変化と課題

「長崎県 2040年研究会報告（R1年10月）」によると、今後、人口減少、少子高齢化の急激な進行に伴い、行政においては、人口減少による税収減や高齢化による社会保障費の増、老朽化したインフラの更新等による財政負担の増加、自治体の組織・人員体制の見直し等により、現在の自治体サービスの維持が困難となると想定し、今後は、公共の主体を行政だけで担うことは困難と予想されています。

## センターの第3期中期事業計画の策定

当センターは、行政機関への支援を主な目的とした公益財団法人として、今後の変容する社会を見据え、第3期中期事業計画（令和2年度～令和6年度）を策定しました。「顧客の要求期待を満たし、将来のニーズを逃さない」を基本方針として、社会資本の品質確保を支援することを通じて、持続可能な社会への貢献を果たすことを目指してまいります。そのために、本県建設行政・建設業界にとり価値ある組織として、顧客の要求・期待に応える努力を積極的に重ねて行く必要があると考えます。顧客の要求・期待は、時代とともに変化するため、我々が持つ強みを大切に、第2期中期事業計画の課題を踏まえ、常に業務および経営の改善を進めてまいります。

## 3つの基本目標

センターの基本方針を基に具体的な事業活動の3つの基本目標を設定しています。

### (1) 事業の品質向上

顧客の要求・期待に対し、一層効果的な業務をより効率的に行うことで、不良サービスの低減、顧客の真の要求・隠れた期待・顧客自身が気づいていない要求などへのサービス提供、サービス価格の低減、貢献事業の実施、新しい価値の提供などの成果をあげることが可能となります。

### (2) 市町の支援拡大

今後の社会環境の変化の影響を最も受けると予想される市町への支援拡大が求められます。そのため、市町が抱える課題の解決に向けた提案を積極的に進めていきます。

### (3) 情報化事業、側面支援への挑戦

- ・インフラデータ・プラットフォームの内製化の研究を進めます。具体的には、市町の技術者不足・技術力不足を支援するため、社会資本データの管理と可視化・活用をサポートし、行政判断を効率的に行う手段を提供します。これには、高度な知識と技術力が必要なため大学等との共同研究を進めます。

- ・社会資本の品質確保に向けた側面支援として、他機関が行う研究開発や人材育成等に助成する基金を創設するなど、多様な方法を検討し実行します。

## ～伝承プロジェクト 全建出前講座「平成30年豪雨災害からの復旧・復興」～

(一社) 全日本建設技術協会と広島県建設技術協会の協力により、2月5日(水)に県・市町職員を対象に全建出前講座を開催しました。広島県土木建築局より講師お二人を迎え、平成30年7月豪雨(西日本豪雨)の概要や復旧・復興への取り組みについて講演頂きました。全国的に激甚化・広域化する気象災害への対応に備える貴重な機会となり、県職員をはじめ13市町から参加があり、合計60名が参加頂きました。



## お知らせ

### 当センターにおける感染症蔓延防止の取り組み

1. 人と人との接触を減らします。研修室を拡大し、受講者間の距離を確保します。  
例) ・第2研修室使用 → 変更後 第1・2研修室使用  
・机1台につき2人 → 変更後 机1台につき1人
2. 換気の充実  
休憩時には窓を開け換気を行います。天候が良い場合は、常時窓を開けて換気します。
3. 消毒液の設置  
研修室出入口や教卓、試験棟各室受付カウンター等に消毒液を設置します。

### 研修受講の皆さまへのお願い

1. 人の集合を避けるため、下記について、ご協力をお願いします。  
・喫煙時は、人との距離を取ってください。  
・複数のトイレ(1階、2階、試験棟、試験附属棟)を使用ください。  
・食堂は廃止します。研修室で昼食を済ませてください。
2. 事前に受講当日受付にてヘルスチェックシートで健康状況を確認ください。また、体調不良(37.5度以上の発熱、風邪症状等)の方の受講は認められませんので、ご了承ください。尚、体調不良によるキャンセルは、受講料を取りません。キャンセルによる納付済み受講料は、他研修への振替や返金により対応します。
3. 咳エチケット・手洗いの徹底をお願いします。

### 「ながさき建設技術フェア」の終了について

当センターが主催しておりました「ながさき建設技術フェア」は2019年(令和元年)10月の第16回開催をもって終了することといたしました。「ながさき建設技術フェア」は各方面から「新技術・新製品等の情報提供」を求める声の高まりを受け、建設技術者の技術力向上を目的に当センターの建設産業支援事業として、2004年(平成16年)より毎年開催してまいりましたが、今回をもって一区切りとし、終了と致したく、お知らせいたします。

これまで延べ860者の企業・団体にご出展いただき、延べ19,000人超の方々にご来場いただきました。心より感謝申し上げます。今後は、社会資本の品質確保に向けた新しい側面支援を目標に掲げ多様な方法を検討して参りますので、今後とも変わらぬご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

## 諫早インター工区が供用開始しました

表紙写真の一般県道諫早外環状線の諫早インター工区は、地域高規格道路「島原道路」の一部を成し、諫早市栗面町から貝津町に至る延長約4kmの自動車専用道路です。長崎県が整備を進めており、小船越ICから諫早IC間(L=1.6km)が令和2年3月22日(日)15時から供用されました。諫早インター工区は、諫早外環状線は島原半島地域と県央地域の交流を促進し地域活性化を目指すことと、環状道路として諫早市中心部の渋滞を緩和する2つの目的があります。

当センターでは、諫早インター工区の整備にあたり、発注者支援業務(積算、監督補助)を実施しました。



出典：長崎県HP



現場管理状況や見学会時の写真です。



## 学習コーナー Q&A

(技術支援室(旧 調査監室) TEL0957-54-1691)

騒音規制法の特定制建設作業に関する次の記述のうち、誤っているのはどれですか。

- ①指定地域とは、騒音を防止することにより住民の生活環境を保全する必要があり、特定制建設作業に伴って発生する騒音について規制する地域として都道府県知事及び指定都市の長等が指定した地域である。
- ②指定地域内において特定制建設作業を伴う建設工事を施工しようとする者は、当該特定制建設作業の開始の日の7日前までに、環境省令で定めるところにより市町村長に届出なければならない。
- ③指定地域内にかかる特定制建設作業を行う場合の騒音の基準値は、特定制建設作業区域の中心で規制されている。
- ④環境大臣が指定する低騒音型ではない原動機の定格出力が80kw以上のバックホウを使用する作業だが、当該作業が作業を開始した日で終了するため、市町村長への届出の必要はない。

解答は8頁へ

## 2020年度（令和2年度）5月～7月 一般研修スケジュール

新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、4月と5月、6月の一部の一般研修開講を見送らせて頂きます。今後も状況に応じて、延期・中止となる可能性がございます。都度、当センターホームページにて告知させて頂きます。受講者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力とご理解の程よろしくお願い致します。

※感染症蔓延防止における当センターの取り組みについては、6頁の「お知らせ」をご覧ください。

日程(予定)	研修名	研修レベル	
5月	5月14日(木)	土工事のための調査と施工管理及び発注者から見た施工管理の注意点	基礎～応用
	5月19日(火)～21日(木)	土木技術者応用講座①(3日間)	応用
	5月26日(火)	現場で役立つシリーズ①(現場で知っておきたい法律)	応用
6月	6月2日(火)	地質データの読み方・使い方	基礎
	6月9日(火)	現場で役立つシリーズ②(施工計画作成のポイントと策定時の注意点)	応用
	6月11日(木)	<b>NEW!</b> 「やってみよう!」から「やってみよう!」ICT導入と活用	基礎
	6月16日(火)	橋梁(コンクリート・鋼構造)の補修・補強～長寿命化への取り組みについて～	基礎～応用
	6月18日(木)	現場で役立つシリーズ③(工期短縮!工程表作成のポイント)	応用
	6月23日(火)	<b>NEW!</b> 現場で役立つシリーズ④(知っておきたい現場管理のポイント)	応用
	6月25日(木)	施工計画作成のポイントと建設業のリスクアセスメント(開催地:五島市)	基礎～応用
	6月30日(火)	無人航空機(ドローン)①	基礎
7月	7月2日(木)	施工計画作成のポイントと建設業のリスクアセスメント(開催地:上五島町)	基礎～応用
	7月7日(火)	基礎工の設計・施工と地盤改良計画手法～トラブル事例に学ぶ～	基礎
	7月14日(火)	現場で役立つシリーズ⑤(労働災害事例から学ぶ安全管理のポイントと発注者から見た事故防止の取り組み)	応用
	7月16日(木)	施工プロセスチェックの対応力アップのポイントと現場のリスクアセスメント(開催地:対馬市)	基礎～応用
	7月30日(木)～31日(金)	無人航空機(ドローン)技能(2日間)①	基礎～応用

延期又は中止

延期又は中止

令和2年度より組織編成が改定され、課名が一部新しくなりました!

課名	内容	お問合せ先
企画情報課 (旧 企画研修課・情報課)	[企画研修班] 研修・ドローン・技術支援・コンストラクションマネジメント等 [情報班] 橋梁システム等・電子保管	[企画研修班] TEL: 0957 (54) 9630 [情報班] TEL: 0957 (54) 1657
品質管理課 (旧 技術審査課)	土砂災害警戒区域等・監督補助・ISO管理・重点橋梁点検	TEL: 0957 (54) 9634
技術支援室 (旧 調査監室)	現場の施工管理・関係法令等	TEL: 0957 (54) 1691
建設技術課	[積算班] 積算・積算協議会 [維持管理班] 橋梁点検支援等	[積算班] TEL: 0957 (54) 9631 [維持管理班] TEL: 0957 (54) 9632
材料試験課	材料試験等	TEL: 0957 (54) 3500

公共事業等の技術的など相談にお答え致します。相談は無料です。お気軽にお問い合わせください。

学習コーナーの答え 正解: ③  
(解説)

指定地域内にかかる特定建設作業を行う場合の騒音の基準値は、特定建設作業の場所の敷地の境界線において85デシベルと規制されている。

〒856-0026

長崎県大村市池田二丁目1311番3

TEL: 0957 (54) 1600

FAX: 0957 (54) 1505

https://www.nerc.or.jp



(公財)長崎県建設技術研究センター